

株式会社インターナショナルスポーツマーケティング

第 38 期

令和 7 年 4 月 1 日から
令和 8 年 3 月 31 日まで

貸借対照表

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	502,904	流動負債	409,882
現金及び預金	322,422	買掛金	77,541
売掛金	164,553	短期借入金	100,000
その他	15,928	未払金	8,302
固定資産	49,348	未払費用	8,238
有形固定資産	940	前受金	32,042
建物附属設備	543	預り金	135,276
工具器具備品	0	未払法人税等	10,606
一括償却資産(三年)	397	未払消費税等	15,157
無形固定資産	28,894	長期借入金(1年以内返済)	22,666
ソフトウェア	28,030	その他	49
その他	864	固定負債	3,777
投資その他の資産	19,513	長期借入金	3,777
長期前払費用	32	負債合計	413,659
繰延税金資産	899	(純 資 産 の 部)	
敷金	18,582	株主資本	138,592
		資本金	100,000
		その他資本剰余金	19,949
		利益剰余金	18,643
		利益準備金	400
		その他利益剰余金	18,243
		繰越利益剰余金	18,243
		純資産合計	138,592
資産合計	552,252	負債・純資産合計	552,252

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針

1. 資産の評価基準および評価方法

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

該当事項はありません。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

販売から一定期間経過したものについては、当社が取り扱う商品の特性に照らし、次のとおりに年度末決算日に評価減を行うものとする。

1. 2 年度目末：前年度末在庫数に対する該当年度売上数量によって評価し、評価額を決定する。

90%以上：取得価額

70%以上 90%未満：取得価額の 70%

50%以上 70%未満：取得価額の 50%

30%以上 50%未満：取得価額の 30%

10%以上 30%未満：取得価額の 10%

10%未満：評価額を単価 1 円とする

2. 3 年度目末：評価額を単価 1 円とする

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法（ただし、平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備については定額法）を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物附属設備 8～15年

器具及び備品 4～15年

一括償却資産 3 年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（3～5 年）に基づいております。

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金 10,857,044 円

プライムマリッジ社の破産手続きにより、令和5年12月31日時点の該当売掛金残高を貸倒引当金として計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

・「収益認識に関する会計基準」に則り、当社事業売上高および当該事業原価をそれぞれ両建計上し、年間契約・単月契約に分別して売上高及び売上原価を計上しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) リース取引の処理方法

該当事項はありません。

(2) 繰延資産の処理方法

該当事項はありません。

(3) 消費税等の会計処理

税抜処理によっております。

2. 株主資本等変動計算書の注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類および総数

普通株式 5,200 株

(1) 当事業年度中に行った無償減資に関する事項

該当事項はありません。

3. 減損損失に関する注記

該当事項はありません。

4. 棚卸資産に関する注記

廃棄(8,528,400 円)、評価(3,606,152 円の評価損計上)を実施。